

安七十五期

葉書との同報会

▼一年ぶりの発行となる。▼早朝、荒池の外周道をご老人が沢山連れ立って歩いていました。中に**三瓶勝男**を発見。NHKでラジオ体操の帰りだとか。シヨック。つまり、それらの老人の中に溶け込んで居ても何ら不思議でない年齢に私もなったのだ。朝6時半NHK郡山支局に行ってみた。確かに六〇代〜八〇代の人たちがNHKビルから流れるスピーカーを聞きながら体操するんだっけ。勢いつけて暫くぶりで七十歳を過ぎても元気な人を紹介する。▼そ

の一、**柳沼清喜**。四月十五日〜五月四日まで二十日間、自転車とテントで野宿しながら四国霊場八十八カ所めぐりをして来た。走行距離千四百キロ、(一日平均七十キロ)高低差四千メートル。まさに健康だからこそ成就出来た。満願の日携帯メールを寄越した。とてもうれしかったのだと思う。蛇足、彼は早稲田演劇博物館のボランティア解説員もしている。▼その二、**石橋孝子**安積女子高卒私たちと同年代。東京大森で三〇才から展開するティオスグループオーナー。その四十周年。HotelBarGrantos 改装開店、彼女自身の古希と言う三点セットの祝賀で招かれた。髻梯熱

海よもぎ埜のオーナーでもあり、私も元熱海の旅館組合長だったのでお招き頂いた。沢山のお客様がお見えになり、彼女のエネルギーには圧倒された。▼その三、**西館与志孝**。郡山市では70歳を過ぎると温泉入浴券とマッサージ券が配布される。そのこのマッサージ師一覧に彼の名前が書いてありビックリ。聞くところによると全国療術師協会会員で温熱療法。手技療法を手掛けているという。他に男声合唱団ドン・カラック事務局、民生委員も務める。元気な人は忙しい。▼その四、JIC Aから専門員として派遣されている。今川直人。前にも書いたが、平成十年から五年間、平

成十八年から二年間、農協育成指導に当たった(彼の前職は全農)そして今回三度目。朝のラジオ体操から始まって日によって夜八時まで、こんな地道な国際活動が日本好きの外国人を増やす。▼彼は『最近は外国と言う非日常的な環境に身を置くことで老化に逆らっている老爺ではないかと自分を鏡に映す』と言う。まさにボケ防止の最高の薬。体の調子が戻ってきた私七十五期を勝手に代表してハノイで彼に会ってくるからね。▼九月六日は旧制安積中安積高百二十周年、安積歴史博物館震災記念復興オープンセレモニー、同時に**熊田喜宣**協力OB展覧会も開催される。

無責任編集 **敬称略御容赦**

郡山市熱海町熱海四の三九 村田英男 連絡はFAX0249-84-2131 deo@kirakuya.jp です。